



西村証券

チーフストラテジスト
門司総一郎の

ウィークリーレポート

2023年
5月19日
発行

第178回 「日本のシリコンバレーは滋賀県にあり」

～地域振興のモデルケースに～

初めに

シリコンバレーの名前はどなたも耳にされたことがあると思います。米国カリフォルニア州に位置し、大手IT企業が多数本社を置いたことなどからこの名前が付きました。まさに、世界のIT化（今で言えばデジタル化でしょうか）を担う地域と言えるでしょう。

シリコンバレーへの訪問

自分は一度だけシリコンバレーを訪問したことがあります。その時感じたのは、ニューヨークなどにぎやかな場所ではなく、こうした緑あふれる恵まれた環境の中でシリコンバレーができた、ということでした。それ以来、日本にもシリコンバレーのような、環境に恵まれ、しかも仕事ができる場所はないかと考えるようになりましたが、そうした場所を滋賀県に見つけました。琵琶湖を一望できるオフィスで、疲れればすぐ休憩をとることもできます。こうした所で仕事をしたくなる、まさにこれこそ日本のシリコンバレーではないかと思いました。

滋賀は歴史的な日本のものづくり先進地域

滋賀をシリコンバレーになぞらえる理由は環境だけではありません。歴史的に日本のものづくりの先進地域としての役割を果たしてきたことも理由の一つです。歴史を紐解くと、平安時代には近江から朝廷へ刀を納めていたとの記録があり、また、16世紀には国友村の鉄砲鍛冶は堺と並んで全国に名を轟かせました。こうした事例から見ても、滋賀は日本のものづくりにおいて重要な役割を果たしてきたことは間違いのないと思います。

現代につながる滋賀のものづくり

こうした先人のものづくりの努力は現在の滋賀にも伝えられていると思います。5月13日付け日本経済新聞朝刊は「データで読む地域再生 高度外国人材 滋賀で急増」という記事を掲載しました。最近、日本のものづくりも人手不足に悩まされていますが、滋賀県は専門的な技術や知識を持つ高度外国人材を活用して積極的に外国人を受け入れています。そうした努力も、今後の滋賀のものづくりの助けになるでしょう。

地域振興のモデルケースに

こうした自治体の努力により、京阪神地域などから滋賀県に住居を移す人が増え、滋賀では人口が増加しているようです。これは、地域振興のモデルケースとして他の自治体も参考になるのではないかと思います。



チーフストラテジスト
門司さんにきいてみよう!



西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等はご遠慮ください。